

記入する前に、裏面の注意事項をよくお読みください。

薬の依頼書

平成 28 年 4 月 5 日 記

医師の診療を受けたところ、下記の通りの指示がありましたので薬を依頼します。

薬の投与の責任は保護者といたします。

依頼者	保護者氏名	むつみ 太郎	クラス	ふきのとう			
園児名							
かかった医療機関名			電話				
(木更津〇〇〇病院)			(36-〇〇〇〇)				
病名・症状 (鼻水・咳)							
① 持参した薬は 28 年 4 月 4 日に処方された 5 日分のうちの本日分							
② 薬の剤型 (該当するものに○)							
粉薬 (2 包) シロップ (1 種類) 錠剤 (錠)							
外用薬 (塗り薬 ・ 目薬 種類)							
その他 ()							
③ 薬の内容 (該当するものに○)							
抗生物質 風邪薬 鼻水の薬 喘息の薬 咳止め 下痢止め							
吐き気止め その他 ()							
外用薬 ()							
④ 投与する日							
平成 28 年 4 月 4 日 ~ 4 月 8 日							
食前 ・ 食後 ・ その他 ()							
⑤ 飲ませ方 (該当するものに○)							
そのまま飲む ・ 水に溶く その他 (粉と粉は混ぜても大丈夫です。)							
⑥ 外用薬などの使用法 ・ 使用部位など							
⑦ その他注意事項							
⑧ 保育園と家庭の確認事項							
		4 月 5 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
家庭	登園前の体温	36.5℃	℃	℃	℃	℃	℃
保育園	投与時間						
	投与者印						
家庭	保護者印						

投薬する薬は
1回分にして必ず
記名してください。

帰りに「薬の依頼書」をお返ししますので、保育園で薬を飲んだことを確認したうえ、サインをお願いします。
翌日も飲ませる場合は、2日目の欄に体温を記入し、薬と一緒に袋に入れて持参してください。



ほけんだより

平成28年4月4日
木更津むつみ保育園

畑のなのはなも暖かい風にゆられ、花いっぱいの四月となりました。子ども達は嬉しさ、喜び、期待と共に少しの不安が入り混じった中、新しいクラスでのスタートを切りました。さて、新年度にあたり、お薬の投与について、再度、ご確認をお願いいたします。

<薬についてのお願い>

- ・第三者による薬の投与は、本来医療行為にあたる為、保護者の皆様が直接与えていただくのが原則です。受診の際に医師に相談して、1日2回になるようご協力ください。
- ・お薬の数増えると、通常保育に支障をきたす場合があります。その場合、相談させていただきます。
- ・やむを得ない場合、保護者から依頼を受け、保育園の担当者が保護者に代わって薬を与えます。依頼書に記入していただき、薬に添付して手渡しして下さいますようお願いいたします。
依頼書のない場合は投与できません。
- ・薬は、お子さんを診察した医師が処方し調剤したもの、またはその医師の処方によって薬局で調剤したものに限りです。保護者の個人的な判断で持参した薬は、保育園としては対応できません。また、市販の薬も対応できませんのでご了承ください。
- ・熱が出たら、咳が出たら…というように、症状を判断して与えなければならない薬、ぬり薬は、園では判断しかねますのでご遠慮ください。
- ・慢性の病気については、園にご相談ください。

<持参する薬について>

- ・誤飲を防ぐため、お手数ですが下記のとおりご協力をよろしくおねがいします。

薬の依頼書は各クラスにあります

- ① 薬には必ず依頼書に必要事項を記入の上、添付してください。なお、お薬の内容について記載のある『薬剤情報提供書』も添付して下さい。
- ② 服用する薬はすべて1回分の量に分けて当日分のみご持参ください。
- ③ 薬は職員に必ず手渡ししてください。
- ④ 粉薬の袋や容器には必ず名前を記入し、薬の依頼書と合わせてジップロックのような口が閉じる袋に入れて持ってきてください。袋にも名前を書いてください。
- ⑤ おたより帳にも「薬があります」と一筆記入してください。

裏面もご覧ください。